

環境安全研究センター50周年記念シンポジウム

環境安全の歩みと将来

2026年

3月4日 水

参加費無料
(要事前登録)

13:00-17:00 (開場12:30)

東京大学 山上会館
および Zoomによるハイブリッド(東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内)
https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

主催：東京大学 環境安全研究センター

<https://www.esc.u-tokyo.ac.jp/relations/symposium/history/34th/>

イノベーションの目標は、地球の過去100年の間に、経済的な豊かさの追求から経済と環境の両立へと変化しました。昨今では、環境・経済・社会の3側面が調和している人と社会のウェルビーイングであることを常に念頭に置くように変化してきました。大学等教育研究機関が果たすべき役割は、東大憲章に謳われているように、「学問の自由と自律に基づく真理の探究と学知の創出」です。そのなかで、自らの活動が環境汚染の原因になってはいけなく、つまり、研究と環境の両立を目標として、1975年に環境安全研究センターは設置されました。以降、学術研究の推進のために必要な静脈インフラとしての学内の廃棄物管理から始まり、現在では環境安全教育・管理に幅広く貢献しております。

本年、設立50周年を迎えるに当たり、「環境安全の歩みと将来」と題した記念シンポジウムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第1部

プログラム

第2部

13:00

歓迎挨拶

東京大学 理事・副学長 齊藤 延人 氏

13:05

来賓挨拶

13:15

50年の歴史を振り返る

東京大学 名誉教授 尾張 真則 氏

13:45

現在の環境安全研究センターの取り組み

東京大学 環境安全研究センター 教授 辻 佳子 氏

14:15 休憩

14:30

大学における化学物質の自律的管理

ー実験研究のプロとしての矜持と教育の両立ー

大阪大学 安全衛生管理部 教授 山本 仁 氏

15:00

先進技術システムの社会実装を支援する社会総合リスクアセスメント

横浜国立大学 総合学術高等研究院 教授 澁谷 忠弘 氏

15:30

これからの「世界に卓越する大学」の環境安全に求められること

東京大学 環境安全研究センター長 角野 浩史 氏

16:00

閉会



尾張 真則 氏



辻 佳子 氏



山本 仁 氏



澁谷 忠弘 氏



角野 浩史 氏

参加申込み

以下のURL、メール、あるいはFAXにてお申込下さい。オンライン出席希望の方は2月24日(火)まで、オンライン出席希望の方は当日まで受付いたします。

<https://www.esc.u-tokyo.ac.jp/50th-symposium/registration/registration.cgi>

お問い合わせ先

東京大学 環境安全研究センター シンポジウム係 宛

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号

電子メールアドレス：2025escsympo@esc.u-tokyo.ac.jp

TEL：03-5841-2972

FAX：03-5841-1233

